

「環太平洋高校生友好会議 2024」の開催について

(1) 主 催

学校法人 大阪医科薬科大学 高槻中学校・高槻高等学校

(2) 行事の名称

日本語：環太平洋高校生友好会議 2024

英 語：Pan-Pacific High School Leaders Meeting for Sustainable Friendship 2024

略 称：Hi! PALM2024 [High School Pacific Leaders Meeting 2024]

(3) 開催日時

2024 年 12 月 1 日（日）午前 10 時～午後 4 時 30 分

(4) 統一テーマ

「健康と安らぎを享受できる国際社会の構築を目指して」

To create a global community where people can enjoy good health and peace of mind

(5) 開催主旨

深刻な課題が山積する世界情勢、地球環境を鑑みると、これらの解決の可能性は次世代のリーダーとなる高校生たちの国境を越えた持続可能な友好関係の構築にあると言える。高槻高等学校は、この 10 年間で培ったグローバル教育の成果を活かし、文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクールネットワーク校として、高校生が国境を越えて集い、高校生の視点から「安らぎと健康を享受できる国際社会の構築」へのアプローチを模索する機会として本会議を開催する。

また本会議は、日本-パラオ国交樹立 30 周年を記念する高校生間の記念行事としての位置づけも合わせて有するものである。

(6) イベントの概要

スーパーグローバルハイスクールネットワーク（SGHN）校の高校、関西圏に所在する高校、パラオ共和国、台湾、太平洋諸国の高校から高校生を招聘し、事前に登録したグローバルな社会課題ごとに分科会形式で高校生がワークショップを行い、課題解決もしくは持続可能な社会実現のためのプランを練り、「アクションプラン提言書」として発表する。

(7) 会議参加高校生

本校生徒：40 名

海外高校：12 名

SGHN 高校、関西圏の高等学校の生徒：50 名程度

合 計：100 名程度

※ SGHN 高校、関西圏高等学校に在籍する留学生が本会議への参加を希望する場合は別に参加枠を設ける。

※ 他校からの見学者を歓迎する。本校生徒の見学も歓迎する。

(8) ワークショップ分科会

- ・「統一テーマ」につながる下記の5つのテーマを、10の分科会において扱う。
- ・各分科会ごとにアドバイザー（外部有識者）による助言を行う。

A. グローバルヘルス

- 【1】人類は今後感染症とどう向き合うか？（コロナ禍から学んだことをどう活かすか）
- 【2】健康な長寿人生をいかに獲得するか？（NCDの予防、肥満対策、ストレス対策、その他）

B. 教 育

- 【1】異文化理解と異文化への寛容性を高めるために必要な教育とは？
- 【2】初等・中等教育において、道徳観・倫理観をいかに育むか？（宗教との関わりは？）

C. 社 会

- 【1】科学技術の進歩と人間社会はどう向き合うか？
（AIがもたらす問題、原子力問題、スマホ依存症）
- 【2】高度情報化社会からの恩恵と危険性の認識の必要性
（有益な情報と操作された情報、個人の孤立化の回避）

D. 環 境

- 【1】地球温暖化（環境汚染を含む）の現状の共有と対策として市民レベルでできることは何か？
- 【2】市民レベルでできる「自然との共生」のためのアクションプランは？

E. 防災・減災

- 【1】日常生活においていかに防災意識の向上を図るか？
- 【2】災害時に支援機関・支援者が心がけることは何か？

(9) スケジュール

2024年12月1日（日）10:00～16:30

10:00 《開会式》

10:30 【基調講演（40分）】

講師：WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）

サラ・ルイーズ・バーバー所長

11:15 [議事進行説明] 生徒実行委員会

11:20 【分科会 I（70分）】

12:30 昼 食

13:00 【ランチタイムプレゼンテーション（30分）】

13:30 【分科会 II（70分）】

14:45 【分科会代表者会議（30分）】

14:45 【分科会レポート（30分）】

15:20 《閉会式》

- ・分科会代表者 「アクションプラン提言書」発表
- ・「高校生会議参加賞」「高校生会議功労賞」授与
- ・記念撮影

(10) 分科会専門アドバイザー（敬称略）

A-1	Nhung Duong	〔京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 専門職学位課程在籍〕
A-2	若林 真美	〔九州大学 アジアオセアニア教育研究機構 准教授〕
B-1	竹内 理	〔関西大学 副学長 外国語学部 教授〕
B-2	Peter Brereton	〔国際基督教大学 教養学部 リベラルアーツ英語プログラム 特任講師〕
C-1	溝端佐登史	〔京都大学経済研究所 元所長 名誉教授・特任教授〕
C-2	山田 埜	〔特定非営利活動法人 グローカル人材開発センター チーフコーディネーター〕
D-1	山本 展彰	〔横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 講師〕
D-2	人見とも子	〔有限会社シサム工房 取締役〕
E-1	生田 英輔	〔大阪公立大学 研究推進機構 都市科学・防災研究センター 教授〕
E-2	北田 真平	〔兵庫県立西宮病院 整形外科 医長〕

(11) 来 賓〔調整中〕

ピーター・アデルバイ 駐日パラオ共和国 特命全権大使

(12) 国際教育顧問（敬称略）

三田 貴〔京都産業大学 国際関係学部 教授〕

(13) 外部後援機関・団体

- ☐ 駐日パラオ共和国大使館
- ☐ 在パラオ日本国大使館
- ☐ 大阪府教育委員会
- ☐ ケンブリッジ大学出版局
- ☐ 高槻ロータリークラブ
- ☐ 公益財団法人 高槻市都市交流協会
- ☐ 公益財団法人 高槻市観光協会
- ☐ 大阪医科薬科大学